



岩松小学校だより



学校だより 第15号

令和8年7月10日発行

発行者 校長 真子靖弘

笑顔がはじけた「岩松小自慢大会！」

7/3(金)、6年生が企画・運営する全校児童参加型「岩松小自慢大会」が開催されました。6年生からの熱いリクエストを受け、学校としても特別に集会校時を設定。応募殺到に伴う事前オーディションを勝ち抜いた11組の本選出場者が、その名の通り「自慢」を大爆発させる圧巻のステージとなりました。

『M-1 グランプリ』の出囃子BGMに乗って始まった大会は、最初から最後まで笑いとお声、温かい手拍子に包まれました。手作りのカマキリお面をかぶって絶滅危惧種への憂いを叫ぶ昆虫プレゼン、息ぴったりのテンポで会場を爆笑させたお笑いコンビ。泥臭くもホームランに挑み続けた野球少年や、会場から「キレッキレ！」と声が飛んだダンス、息の合った二人三脚。さらに、名曲



『ライラック』の歌唱では会場の10人ほどが立ち上がって一緒に踊る一幕もあり、47都道府県の一気暗唱、サッカー、けん玉、マット運動、そして華麗なバレエなど、多才な個性が次々と披露



されました。客席からは「すっげー！」「かっけー！」「ブラボー！」と惜しみない賛辞が送られ、会場のボルテージは最高潮に達しました。



何より素晴らしかったのは、企画から司会進行、そして35分という限られた時間を意識したタイムマネジメントまで、すべてをやり遂げた6年生のプロデュース力です。自分たちだけでなく「参加する全員を楽しませる」という強い意志に、大きな成長を感じました。まさに本校のスローガンである「愉しかなければ学校じゃない！」を自ら体現し、形にしてみせた子どもたちの姿が本当に嬉しく、頼もしい限りです。

誰もが笑顔になり、明日への活力が湧いてくる。そんな「子どもたちの手で創り上げる行事や学び」を、岩松小はこれからも全力で応援(教職員が伴走)し、さらに深く追求していきます。

「自律」への第一歩は、十分な睡眠から

7/2(木)の全校集会では、体調不良の校長に代わり、江頭教頭が講話を行いました。6/22(月)～30(火)の「早寝・早起き・朝ごはん週間」を受け、本校の教育目標である「自律」と睡眠の関係について全員で考えました。



講話では、「何時に寝るかを自分で決めることが自律の大きな一歩になること」「睡眠をコントロールできる人は、自分の力で成長できること」が伝えられました。また、小学生に必要な9～11時間の睡眠は、脳の記憶整理や心の安定、体の成長に不可欠であることも学びました。

終了後の感想には「もっと寝ます！」「早く寝る習慣を続けたい」「学校から帰って寝るまでの時間の使い方を見直したい」など、自律に向けた前向きな言葉があふれていました。

子どもたちの「自分で決めて実行する(自律)」という挑戦を、ぜひご家庭でも最高の支援者として温かく見守り、応援していただけますと幸いです。

届け！ 私たちのエール！

6/26(金)、4年生が「シュガーロード」学習の講師として村岡総本舗の社長さんをお招きしました。実はこれに合わせ、3&6年生が「村岡さんを元気づけようプロジェクト」を始動。今年5月に店舗の一部が焼失したことを心配し、「自分たちにできることはないか」と全校に呼びかけて応援メッセージを集めていたのです。3年生が広用紙を繋ぎ飾りをデザインし、6年生が全校にメッセージ記入を放送で呼びかけ、完成しました。誰かのために、地域のためにと、優しい心を具体的な形にする力が育っていることを大変嬉しく思います。

かっけー！ 3年生！

かっけー！ 6年生！

かっけー！ 岩松っ子！

